

しじょう

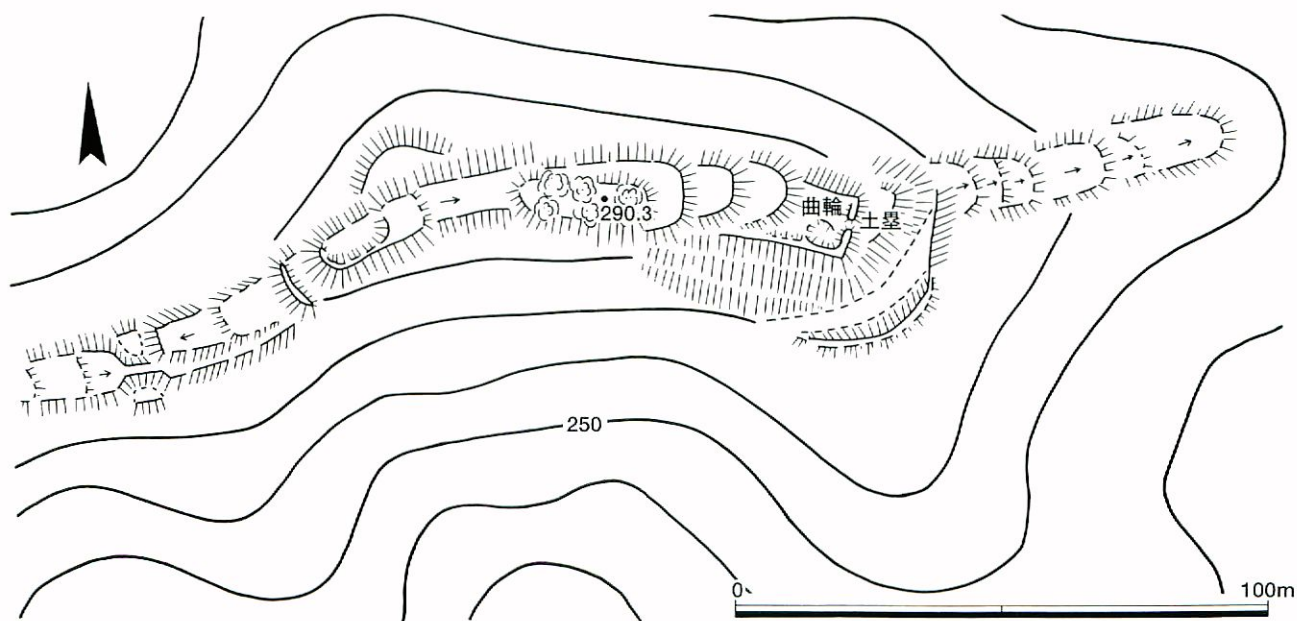
支城群

たかとり (高取城) ・ おにが (鬼ヶ城) ・ かがみ (鏡城) ・ わかやまとりで (若山砦)

鳥栖市教育委員会



高取城遠景 (東から)

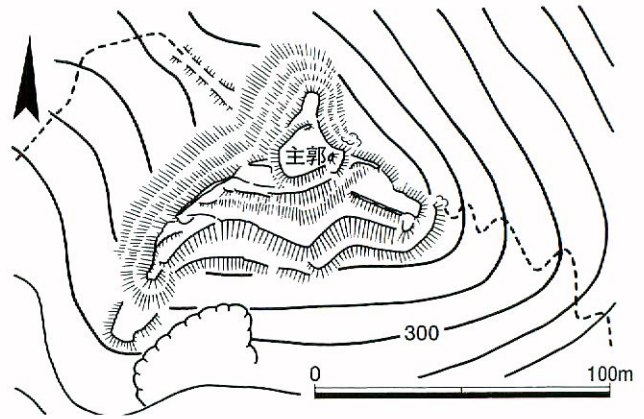


高取城縄張図 (千田嘉博氏 作図)

高取城 高取城は、勝尾城の南側、谷を挟んだ標高290mの山上に築かれた山城で、筑紫広門の弟、筑紫春門の居城といわれています。主郭(本丸)を中心として、三段の曲輪、堀切、空堀等がよく残っています。尾根上に曲輪を連ねた(連郭式)古い構造を残す城です。



鬼ヶ城遠景（東から）



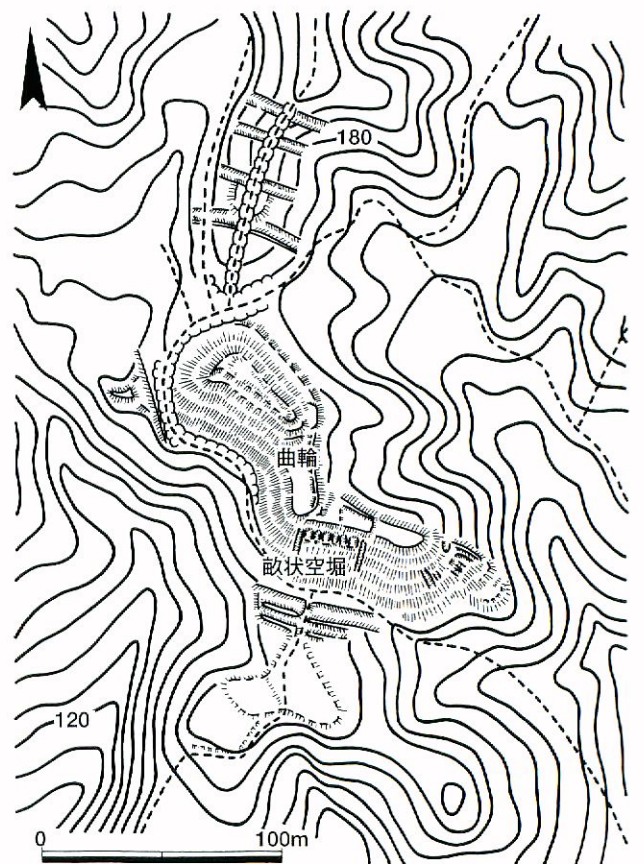
鬼ヶ城縄張図（千田嘉博氏 作図）

鬼ヶ城 勝尾城の南西部の谷奥に築かれた山城で、勝尾城の背面の守りに備えた城とされます。主郭を中心とする三ヶ所の曲輪が良好な状態で残っています。曲輪間を結ぶ連続した土塁が見られ、天正年間（1573～1591）に改修されたと思われます。主郭からは石臼が採集されています。

現在は城の屋の一部がロッククライミング場として利用されています。



鏡城遠景（南西から）



鏡城縄張図（千田嘉博氏 作図）

鏡城 牛原集落の北側、標高172mに築かれた山城で、勝尾城下町の東の守りに備えた城と考えられます。

城跡には主郭、曲輪、堀切、また筑紫氏の城では珍しい畝状空堀（畝のように縦堀を並べた空堀群）が残っています。

若山砦 天正14年（1586）島津氏により勝尾城が攻められたときに最後まで落城しなかったと『筑紫文書』にいう「谷山城」ではないかと推定されます。

『肥前州基肄郡勝尾山筑紫広門公城跡之図』によれば、勝尾城の前面（南東）に「若山砦」と描かれています。現在のところはっきりとした場所は分かりません。今後の調査が待たれます。